

【緑地の樹】

モミジイチゴ

東日本の山野にごく普通に生え、高さ約2mになる。茎には棘が多く、葉は掌状に3~5裂し、モミジの葉に似ることから名がついた。

4月ごろ直径3cmほどの5弁の白い花を下向きに開く。6月ごろ球形の実をつけ、熟すと黄色くなる。味がいいが柔らかく崩れやすい。

西緑地では中央広場周縁部にある。花は可憐で実はおいしいが、棘があるので注意！

(宇野)

プロフィール： バラ科キイチゴ属 落葉低木

